

令和8年3月定例会記者会見市長あいさつ

記者の皆様におかれましては、ご多忙のところご出席を賜り、誠にありがとうございます。

まずは、3月定例会の日程及び、主な議案の内容について、ご説明いたします。会期は、来週2月16日から、3月19日までの32日間の予定です。

それでは、「令和8年度当初予算案」につきまして、ご説明申し上げます。令和8年度の予算編成にあたりましては、全国的な課題である人口減少や超少子高齢化、そして引き続く物価高騰の影響などを踏まえ、本市が掲げる『みんなでつくる みんなが輝くまち あげお』を実現していくため

「こどもまんなか社会の実現」

「誰もが健康で暮らせるまちづくり」

「命と暮らしを守る防災・減災対策」

「将来を見据えた持続可能なまちづくりの推進」

の4つを掲げ、各事業の必要性・緊急性などの観点から優先順位を見極めつつ、予算編成を行いました。

その結果、一般会計の予算規模は、904億8千万円で、対前年度比2.3%の増となっております。

それでは、基本方針に基づいた具体的内容をご説明してまいります。

まず1つ目、「こどもまんなか社会の実現」では、小学校給食費について、無償化を実施いたします。中学校給食費については、現在の食材費高騰分の補てんに加え、保護者負担の半額を助成し、子育て世帯の経済的負担を軽減いたします。

次に、「こどもの居場所づくり」につきましても、さらに力を入れてまいります。「朝の小1の壁」の解消に向け、小学校の登校時刻前に児童を預かる

モデル事業を実施するとともに、不登校対策支援として、「校内教育支援ルーム・SSR」の支援員を全小中学校に配置し、児童生徒が学校内で安心して過ごせる居場所を確保いたします。

さらに、休日の部活動の地域展開については、県内の自治体に先んじて、本年8月の完全実施を予定しております。これにより、生徒が新たな活動にチャレンジできる機会を創出するとともに、教職員の負担軽減による働き方改革の推進を図ってまいります。

また、すべての子育て家庭が身近な場所で気軽に相談できる、「地域子育て相談機関」を市内11か所に設置し、きめ細やかな相談や、訪問によるアウトリーチ型の支援などを積極的に行うことで、支援のとりこぼしを防ぐとともに、子育て世帯の不安解消を図り、安心して子育てできる環境づくりを進めてまいります。

そのほか、「新しい時代の学びにふさわしい学校」を目指し、上平中学校の用地取得をはじめ、市内の学校施設の更新を着実に進めてまいります。

次に2つ目、「誰もが健康で暮らせるまちづくり」では、まず上尾市独自の健康ポイントアプリ「あげお健康ぷらす」について、将来の健康リスク予測や予防方法を把握することができる AI 機能を追加し、利用者の「健康の見える化」を図ります。

また、65歳以上の加齢性難聴者に対する補聴器購入補助を行うことにより、フレイル予防と高齢者の積極的な社会参加を進めるほか、高齢者などの外出機会を確保するため、市内事業者が所有する送迎バスを活用した、新しい公共交通手段の導入に向けた検討に着手いたします。

次に3つ目、「命と暮らしを守る防災・減災対策」では、継続して雨水貯留施設の整備を行うとともに、災害時に地域防災の要(かなめ)となる防災士の養成を進めてまいります。

また、県内初となる、水防法に基づく「内水ハザードマップ」の作成・全戸配布を実施するなど、さらに災害に強いまちづくりを進めてまいります。

さらに、一般家庭や自治会に対する防犯カメラなどの設置にかかる補助金制度を創設し、地域における防犯対策の推進と、市民の皆さまが安全・安心に暮らせるまちづくりを、一層進めてまいります。

最後に4つ目、「将来を見据えた持続可能なまちづくりの推進」では、上尾駅西口モンシェリー通りを賑わいのある道路空間とするため、「ほこみち制度・歩行者利便増進道路」の活用に向けた整備を行っていきます。

また、上尾市の農産物のPRや、地産地消の推進などを目的とした、「農産物自動販売機」を上尾駅に設置するなど、賑わいと魅力あるまちづくりを進めてまいります。

さらに、市役所本庁舎への太陽光発電パネルの設置をはじめ、「再エネ・省エネ対策推進奨励金」や、「住宅断熱改修奨励金」などの増額を行い、環境負荷の少ないエネルギー利用の促進により、地球温暖化対策を進めてまいります。

そのほか、令和9年度に「まるひろ上尾ショッピングセンター」内にオープン予定の図書館仮本館の整備や、図書館本館の大規模改修に係る設計費用を計上いたします。

また、西貝塚環境センターの基幹的設備改良工事や西宮下中妻線の整備など、市民の皆さまが安心して快適に暮らすことができるまちづくりに努めてまいります。